

「JAバンク茨城子ども食堂応援助成2023」活動報告書

活動名	おひさま子ども食堂
団体名	NPO 法人らいふプランニング
この活動で取り組んだ地域の課題や背景（※）	ひとり親家庭等の子育て支援により、地域と学校が連携して、不登校児を減らす。 そのベアリングを担う子ども食堂であり続け、よきふるさとを語り合える水戸市にします。
この活動の目的（※）	この地域から、腹ペこで学校をお休みしてしまう子どもたちを減らします。 お腹いっぱい食べて、ファイトフレンド夢ガール子ども食堂を開催し、地域に役立つ大人になってくださる成長サポートを目的とする。
活動の対象（※）	双葉台市民センターに来てくださるご家庭さま。 おひさま子ども食堂を愛してくださる方々なら、誰でも大歓迎です。
実施内容	毎月第4土曜日 11:00 から 13:00 双葉台市民センターにて。 (4/27・5/25・6/22・7/27・8/24・9/28・10/26・11/23・12/28) こども無料 大人 200 円 無くなり次第終了 100 食 ある時・あるものでフードパントリーを開催。 年3回ひとり親家庭等に、フードパントリーを開催。
活動実施後の成果	JAバンク茨城さまの助成金をいただき活動をしている、信頼と響きは大きく、人参・じゃが芋・玉ねぎなど、新鮮なお野菜のご寄付をお受け取りでき、1品多く手作りでき、お弁当の中身が充実しました。 一番不自由していたフードパックをワンサイズ大きいものにでき、美味しそうに盛り付けることができました。また、衛生面に対しても、ふきんや消毒液に対しても不自由なく購入でき、女性スタッフも喜んでいました。
今後の展望や新たに増えてきた地域課題	ボランティアのみなさまが高齢化していますので、引継ぎボランティアの育成が課題ですが、少しずつ、復興支援プロジェクト水戸のメンバーや、水城高校など、学生ボランティアの参加が増え、それに伴い当団体のメンバーも心新たに、参加メンバーも増えてつづあるので、世代交代もあと一歩のところまで進んでいます。今後も引き続き世代交代へと取り組んでいくことが課題です。
寄付者への一言（※）	みなさまのあたたかいお気持ちを、かわいい子どもたちに見える形で、お届けさせていただきます。 どうか、みなさま、お時間のある時にお立ち寄りください。

※ 申請書から転記いただいて構いません。

「JAバンク茨城子ども食堂応援助成」活動報告書

	いつも同じ、かわいい子どもたちのえがお、いっぱいのを蒔かせていただきます。
自己評価 (いずれかに ○を記入)	A. 目標を超える成果を得ることができた B. ほぼ目標どおりの結果となった C. 残念ながら目標を達成できなかった D. その他 ()
自己評価で C を記入された 場合、その理由	

※ 欄の大きさは自由に変えていただいて結構ですが、全体で 2 ページ以内となるようご配慮ください。

※ 活動の様子がわかる写真数枚のデータを別途ご送付ください。

※ その他必要に応じて補足書類をご提出ください。